

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第15週（4月10日～4月16日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第14週の3.52から第15週は1.88と減少していますが、流行期の目安である1.00は超えているので引き続き注意が必要です。

迅速検査ではインフルエンザA型が71.1%、B型28.9%となっています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数は第13週の6.78から第14週は5.06と減少しています。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2017年第11～15週）ではAH3亜型の検出割合が最も多く64.3%、次いでB（ビクトリア系統）が18.4%、B（山形系統）11.1%、AH1pdm09が4.4%の順でした。

県内におけるインフルエンザの報告数はピーク時（第5週：50.60件/定点）の約1/27に減少しましたが、流行は続いていますので、外出後の手洗い等の感染予防を心がけましょう。

症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生する水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- (1) 咳・くしゃみが出たらマスクをしましょう。
- (2) 鼻汁・痰などを含んだティッシュはフタつきのゴミ箱に捨てましょう。
- (3) 咳・くしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は直ちに洗いましょう。
- (4) 咳をしている人にマスクの着用をお願いします。
- (5) マスクの装着は説明書を読んで、正しく着用しましょう。

- 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

- 厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

- 厚生労働省 「平成28年度インフルエンザQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第14週の2.67から第15週では2.80と横ばいですが、県全域から報告があり、安芸、須崎で増加していますので引き続き注意が必要です。

定点医療機関からのホット情報ではロタウイルス12例の報告があり、また基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が1例報告されるなど、ロタウイルスの報告が増加しています。

ロタウイルス感染性胃腸炎とは、3月から5月頃にかけて乳幼児を中心に流行するロタウイルスによる胃腸炎で、感染力が強く、免疫のない小児では生後6か月～2歳くらいまでに必ずと言っていいほど経験する病気です。水のような多量の下痢便が特徴で、便の色も白っぽくなることから、白色便性下痢とも言われます。激しい嘔吐を伴うこともあるため嘔吐下痢症、小児仮性コレラ、白痢などとも呼ばれています。合併症としては、脱水症があり、脱水の程度や臨床的重症度は他のウイルス性胃腸炎より重いことが多く、主に4～23か月児に重度の脱水症がみられることがあります。

ロタウイルスによる感染症の予防対策には予防接種があり、乳幼児を中心に受けることができますので、かかりつけの医療機関にご相談ください（任意接種）。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。

便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

調理をする場合には、中心部まで十分に加熱しましょう。

●厚生労働省 感染性胃腸炎（特にロタウイルス）について

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/top.html>

●厚生労働省「ロタウイルスに関する Q&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/>

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第 14 週の 1.67 から第 15 週では 1.90 と横ばいですが、須崎で急増、高知市、中央西で増加し、須崎では注意報値を超えています。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人、特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○流行性耳下腺炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第 14 週の 0.20 から第 15 週では 0.33 と増加しています。須崎、中央東で急増し、須崎では注意報値を超えています。

流行性耳下腺炎は、3～6 歳の小児に多い感染症で、耳の下やあごの下の腫れと痛みが特徴です。通常、1～2 週間で軽快しますが、まれに無菌性髄膜炎、難聴、精巣炎等の合併症を起こすことがあります。また、感染しても症状が現れない不顕性感染が 30%程度あるとされています。

感染力はとても強く、咳等のしぶきによる飛沫感染と唾液が付着した物への接触等による接触感染があります。予防対策としては、手洗い、うがいの励行に加えて、任意による予防接種がありますので、かかりつけ医療機関にお尋ねください。

○ヒトメタニューモウイルス（hMPV）感染症に気を付けて！

定点医療機関からのホット情報では、ヒトメタニューモウイルスによる感染症が第 14 週に 10 例、第 15 週に 14 例報告されています。

ヒトメタニューモウイルス感染症は、1 歳から 2 歳に多く、主な症状は、咳、発熱、鼻水です。重症化すると、喘鳴（ゼーゼー）、呼吸困難が見られます。流行時期は 3～6 月が中心です。

免疫を獲得しづらいため再感染を頻繁に起こすとされています。有効なワクチンはまだありませんので感染予防には、手洗い、うがい、マスクの着用、接触感染対策が大切です。

国内では、流行時期に高齢者施設などで hMPV を原因とする呼吸器感染症の集団発生が散見されていますので注意が必要です。

☆山や草むらでの野外活動の際にはマダニに注意！

今年初めて日本紅斑熱の発生届けが第15週に1例ありました。

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

春になり山菜採り、キャンプ、ハイキング、登山、ゴルフ、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。この時期、野山に生息するマダニに刺されることで感染症を起こすことがあります。

全てのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、これらのダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。（予防するためのワクチン等はありません。）

野山や畑、草むら等に出かける時には長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、ダニ用の忌避剤を使用する等して、効果的な対策を自ら取ることが大切です。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

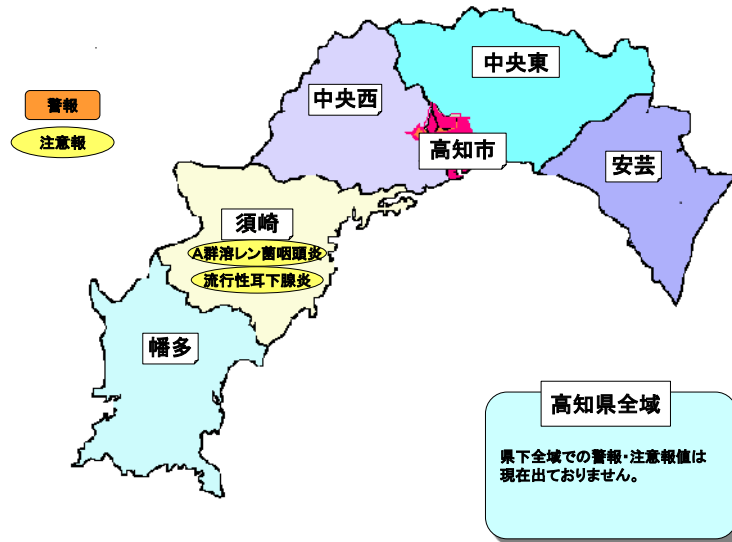
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減
15週（4月10日～4月16日）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		2.80	安芸、須崎で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		1.90	須崎で急増し、高知市、中央西で増加しています。須崎では注意報値を超えています。
インフルエンザ		1.88	須崎で増加していますが、幡多、中央東、安芸で急減、高知市で減少しています。
水痘		0.50	幡多で急増、高知市、中央東で増加しています。
RSウイルス感染症		0.43	須崎、幡多で急増、高知市で増加しています。
突発性発疹		0.43	須崎、高知市、中央西で急増し、中央東では増加しています。

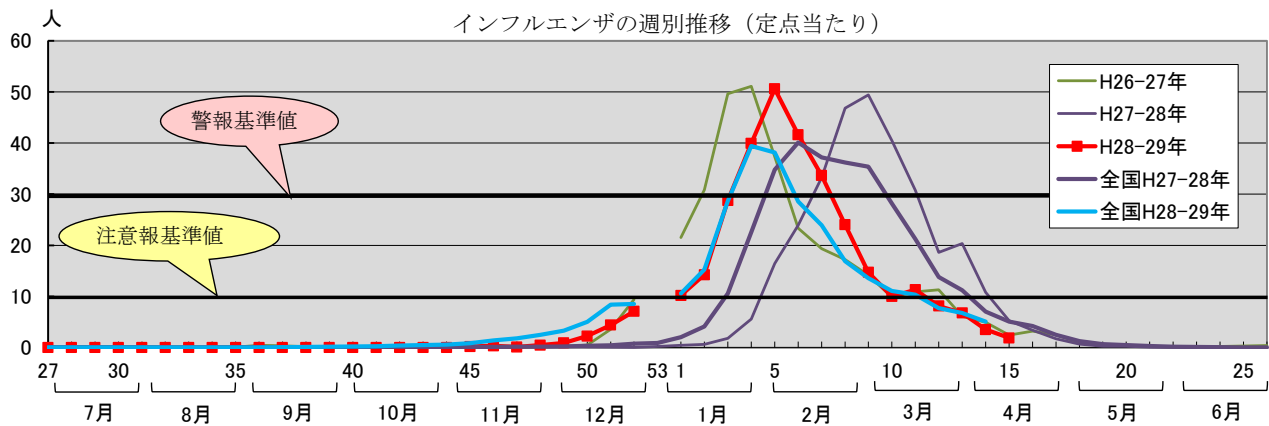
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

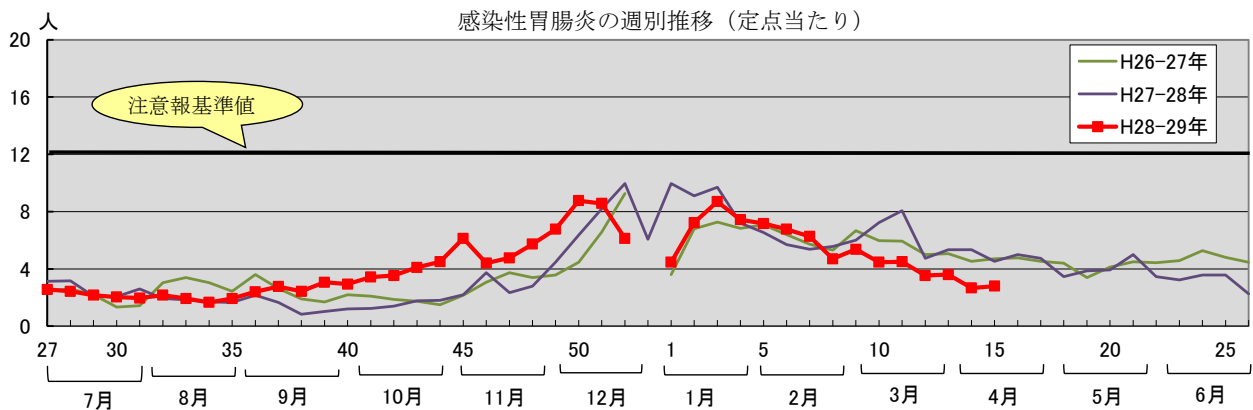
○インフルエンザ 第15週：1.88 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.88 (前週：3.52) と減少しています。幡多 1.50 (前週：4.50) 中央東 0.91 (前週：2.91) 安芸 0.25 (前週：2.00) で急減しています。年齢別に見ると患者の 65%以上が 15 歳以上になっています。



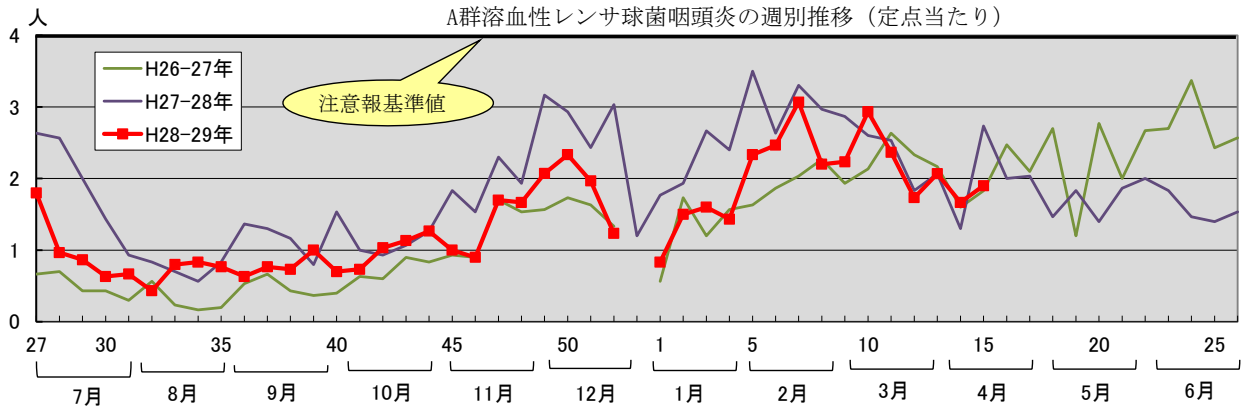
○感染性胃腸炎 第15週：2.80 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.80 (前週：2.67) と横ばいです。安芸 3.50 (前週：2.00) 須崎 3.00 (前週：2.50) で増加、中央西 0.33 (前週：0.67) で急減、幡多 1.60 (前週：2.20) で減少しています。



○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第15週：1.90 (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.90 (前週：1.67) と横ばいです。須崎 4.00 (前週：1.00) で急増、高知市 3.00 (前週：2.00) 中央西 1.00 (前週：0.67) で増加し、須崎では注意報値を超えています。



※グラフの途切れについて
 H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。
 そのため、H26-H27年とH28-H29のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	26	60歳代 男	安芸
		1		50歳代 男	
5類	後天性免疫不全症候群	1	2	70歳代 女	高知市
	日本紅斑熱	1	1	60歳代 男	
	アメーバ赤痢	1	3	50歳代 男	

★病原体検出情報

衛生研究所が設置されている高知県保健衛生総合庁舎は改築工事を実施しており、本年3月末に第1期工事が完了し、3月中旬から4月末の計画で新庁舎への検査機器等の移設作業を行っています。この移設作業実施期間中は病原体の検査ができなくなるために検体の受入（小児科定点、眼科定点、基幹定点）を一時中止させて頂いておりましたが、下記の通り検体受付を再開させて頂きます。

検体採取開始日：4月17日（月）（第16週）から
 検体受け入れ再開日：4月24日（月）（第17週）から

但しインフルエンザ定点におかれましては、検体受け入れ一時中止の期間中（3月16日（木）～4月16日（日））に採取し、貴施設に保管していただいた検体についてもあわせて搬送をお願いします。

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	hMP 感染症 1 例 (11 ヶ月男)
中央東	早明浦病院小児科	ロタウイルス感染性胃腸炎 10 例 (保育園、小学校) (1 歳女、2 歳男 2 人、2 歳女 2 人、3 歳女、4 歳男女、 5 歳女、8 歳男) カンピロバクター腸炎 1 例 (12 歳男) 病原性大腸菌 O-8 腸炎 1 例 (8 歳男) マイコプラズマ肺炎 1 例 (5 歳女)
	高知大学医学部附属病院小児科	ヒトメタニューモニア気管支炎 1 例 (2 ヶ月男)
	あけぼの小児クリニック	ヒトメタニューモウイルス 1 例 (7 ヶ月男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (1 歳男) 病原性大腸菌 O-25+サルモネラ O-9 腸炎 1 例 (10 歳女)
	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 1 例 (2 ヶ月女) インフルエンザ 1 例 (4 ヶ月男)
	三愛病院小児科	hMPV 2 例 (2 ヶ月男、1 歳女)
	細木病院小児科	ノロ 1 例 (1 歳男) ロタ 1 例 (5 歳男) キャンピロ 1 例 (9 歳男)
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A 型 1 例 (18 歳女) インフルエンザ B 型 1 例 (4 歳男：越知町)
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎 2 例 (5 歳女 2 名) アデノウイルス扁桃炎 2 例 (2 歳男、8 歳女)
	石黒小児科	顔面単純ヘルペス 1 例 (35 歳男) インフルエンザ A 型 4 例
須崎	もりはた小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1 例 (1 歳女) 感染性胃腸炎ロタ 1 例 (1 歳女) ムンプス、溶連菌感染症が続く
幡多	さたけ小児科	マイコプラズマ 1 例 (6 歳女) hMPV4 例 (0 歳男、1 歳男 2 人、4 歳女)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 陽性 5 例 (5 ヶ月男、1 歳男、4 歳男、1 歳女、3 歳女)

★全国情報

第 13 号 (3 月 27 日～4 月 2 日)

1 類感染症：報告なし

2 類感染症：結核 318 例

3 類感染症：細菌性赤痢 2 例、腸管出血性大腸菌感染症 18 例、パラチフス 1 例

4 類感染症：E 型肝炎 4 例、A 型肝炎 6 例、つつが虫病 1 例、デング熱 8 例、マラリア 1 例

レジオネラ症 32 例

5 類感染症：アメーバ赤痢 13 例、ウイルス性肝炎 1 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 20 例

急性脳炎 8 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5 例

後天性免疫不全症候群 12 例、ジアルジア症 2 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 5 例

侵襲性髄膜炎菌感染症 2 例、侵襲性肺炎球菌感染症 57 例、水痘 (入院例に限る) 1 例

梅毒 66 例、播種性クリプトコックス症 5 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、

麻しん 13 例

報告遅れ：E 型肝炎 1 例、エキノコックス症 1 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 3 例

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 15 例、急性脳炎 4 例、

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、水痘 (入院例に限る) 4 例、梅毒 26 例

播種性クリプトコックス症 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、麻しん 21 例

※第17週（4月24日から4月30日）の週報は大型連休により医療機関が休診となるため、第17週・第18週（5月1日から5月7日）の合併号として、5月10日(水)に発行します。

高知県感染症情報(59定点医療機関)

定点名 疾病名	保健所	第15週 平成29年4月10日(月)～平成29年4月16日(日)							高知県衛生研究所			
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(14週)	高知県(15週未累計) H29/1/2～H29/4/16	全国(14週未累計) H29/1/2～H29/4/9
インフルエンザ		1	10	38	17	12	12	90 (1.88)	169 (3.52)	25,048 (5.06)	14,371 (299.40)	1,270,554 (256.47)
咽頭結核熱				1				1 (0.03)	2 (0.07)	970 (0.31)	72 (2.40)	14,894 (4.71)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6	33	3	8	7	57 (1.90)	50 (1.67)	6,059 (1.92)	910 (30.33)	94,092 (29.77)
感染性胃腸炎		7	27	35	1	6	8	84 (2.80)	80 (2.67)	17,806 (5.63)	2,390 (79.67)	251,674 (79.62)
水痘		2	4	8			1	15 (0.50)	14 (0.47)	1,101 (0.35)	171 (5.70)	15,895 (5.03)
手足口病								()	()	399 (0.13)	16 (0.53)	6,205 (1.96)
伝染性紅斑			2				1	3 (0.10)	4 (0.13)	244 (0.08)	58 (1.93)	3,523 (1.11)
突発性発疹		1	3	5	1	2	1	13 (0.43)	6 (0.20)	1,470 (0.47)	132 (4.40)	16,871 (5.34)
百日咳								()	()	22 (0.01)	13 (0.43)	313 (0.10)
ヘルパンギーナ								()	()	112 (0.04)	2 (0.07)	1,046 (0.33)
流行性耳下腺炎			3					10 (0.33)	6 (0.20)	1,791 (0.57)	106 (3.53)	28,169 (8.91)
RSウイルス感染症				7			4	13 (0.43)	7 (0.23)	619 (0.20)	198 (6.60)	12,254 (3.88)
急性出血性結膜炎								()	()	12 (0.02)	()	101 (0.15)
流行性角結膜炎								()	()	378 (0.55)	6 (2.00)	4,779 (6.91)
細菌性髄膜炎								()	()	9 (0.02)	1 (0.13)	129 (0.27)
無菌性髄膜炎								()	()	14 (0.03)	3 (0.38)	209 (0.44)
マイコプラズマ肺炎			1	2				3 (0.38)	1 (0.13)	89 (0.19)	46 (5.75)	2,839 (5.95)
クラミジア肺炎(オウム病は除く)				1				1 (0.13)	()	5 (0.01)	6 (0.75)	78 (0.16)
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)				1				1 (0.13)	4 (0.50)	367 (0.77)	14 (1.75)	1,991 (4.17)
計 (小児科定点当たり人数)		11 (5.25)	56 (7.35)	131 (10.47)	22 (5.06)	37 (15.50)	34 (5.90)	291 (8.40)		56,515	18,515 (434.99)	1,725,616
前週 (小児科定点当たり人数)		18 (7.00)	74 (8.92)	140 (10.63)	26 (6.01)	19 (7.25)	66 (10.10)		343 (9.16)			

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点名 疾病名	保健所	第15週							前週	全国(14週)	高知県(15週未累計) H29/1/2～H29/4/16	全国(14週未累計) H29/1/2～H29/4/9
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計				
インフルエンザ		0.25	0.91	2.38	3.40	3.00	1.50	1.88	3.52	5.06	299.40	256.47
咽頭結核熱				0.09				0.03	0.07	0.31	2.40	4.71
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.86	3.00	1.00	4.00	1.40	1.90	1.67	1.92	30.33	29.77
感染性胃腸炎		3.50	3.86	3.18	0.33	3.00	1.60	2.80	2.67	5.63	79.67	79.62
水痘		1.00	0.57	0.73			0.20	0.50	0.47	0.35	5.70	5.03
手足口病										0.13	0.53	1.96
伝染性紅斑			0.29				0.20	0.10	0.13	0.08	1.93	1.11
突発性発疹		0.50	0.43	0.45	0.33	1.00	0.20	0.43	0.20	0.47	4.40	5.34
百日咳										0.01	0.43	0.10
ヘルパンギーナ										0.04	0.07	0.33
流行性耳下腺炎			0.43			3.50		0.33	0.20	0.57	3.53	8.91
RSウイルス感染症				0.64		1.00	0.80	0.43	0.23	0.20	6.60	3.88
急性出血性結膜炎										0.02		0.15
流行性角結膜炎										0.55	2.00	6.91
細菌性髄膜炎										0.02	0.13	0.27
無菌性髄膜炎										0.03	0.38	0.44
マイコプラズマ肺炎			1.00	0.40				0.38	0.13	0.19	5.75	5.95
クラミジア肺炎(オウム病は除く)				0.20				0.13		0.01	0.75	0.16
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)				0.20				0.13	0.50	0.77	1.75	4.17
計 (小児科定点当たり人数)		5.25	7.35	10.47	5.06	15.50	5.90	8.40			434.99	
前週 (小児科定点当たり人数)		7.00	8.92	10.63	6.01	7.25	10.10		9.16			

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869